

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 29 日

仕 事 の 内 容	幼稚園施設型給付費事業			
担当部署・課長名	保育課	課	管理・給付	係 課長名 関田 孝志

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	1 - 1	-
【施策名】 学校教育の充実	総 合 計 画 書 (ページ)	31	

予算名	款 ¹⁰	教育費	項 ⁶	幼稚園費	目 ¹	教育振興費	事業 ²	幼稚園施設型給付費事業費
-----	-----------------	-----	----------------	------	----------------	-------	-----------------	--------------

1	こ の 仕 事 の 目 的	① 誰(何)を対象にしていますか。	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
		幼稚園を利用している児童		3~5歳の就学前児童数(4月1日現在)
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]		② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
		安心して預けられ、適切な教育が受けられる		幼稚園を利用している児童数
		③ そのために何をしましたか。		③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
		市内に住所がある児童が幼稚園を利用した際、当該幼稚園の運営者に補助金を交付した。		幼稚園における補助金交付対象児童数

2	指 標 の 推 移		単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	人	2,325	2,278	2,222	/	/
		成果指標	②の数値	延人	207	199	204	/	/
		目 標	②の目標値						
		目標値設定の考え方							
		活動指標	③の数値	延人	207	199	204	/	/

3	経 費	事 業 費 (実績)		円	5,744,950	6,100,992	6,814,114	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
		財 源	一般財源		円	2,081,445	2,183,265		2,453,979
			特定財源		円	3,663,505	3,917,727		4,360,135
			(うち受益者負担)		円	0	0		
		人 件 費 (目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.1	0.1		0.1
			所要人数(再任用)		人	0.0	0.0		
	職員人件費(再任用以外)		円	826,700	16,506,000	824,400			
	職員人件費(再任用)		円	0	0				
	事業費+人件費		円	6,571,650	22,606,992	7,638,514			

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4	環 境 変 化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
		平成27年4月「子ども・子育て支援新制度」の開始に伴い、幼稚園事業が実施された。保護者の就労の有無にかかわらず、誰もが安心して希望する教育を受けられるよう、環境整備に努める。	
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	

仕 事 の 内 容	幼稚園施設型給付費事業			
担当部署・課長名	保育課	課	管理・給付	係 課長名 関田 孝志

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	例年、単価改正が行われるため、1年間の補助金計算が煩雑になる。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	前年度のスケジュールを参考に、運営費や補助金の各種手続きが効率よくできるようにした。			
8 今後の方向性	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	単価改正や加算項目の変更・追加等があった際には、運営費の管理表を作成し適正に管理する。			
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	単価改正や加算項目の追加等により、年度末の補助金計算が複雑になるため、運営費の管理表を作成し適正に管理する。			
成果	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	運営費にかかる加算項目の増加や、算出方法の複雑化により管理シートを作成することは容易ではないため、東京都からの情報提供をもとに、加算内容の確認と制度理解を迅速に行い、準備期間を十分に確保し対応する。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を縮小していく。		経費	仕事の経費は維持する。